

平成 30 年 12 月 17 日  
 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）付  
 参事官（地域担当）

## 景気ウォッチャー調査における景気判断理由集 の記載内容の訂正について

標記調査について、公表している「景気判断理由」（現状判断、四国地域）に誤りがあったため、次のとおり訂正するとともにお詫び申し上げます。なお、景気ウォッチャー調査のD Iの数値に変更はありません。

### ※訂正箇所

No.	対象月次	景気判断理由集（現状判断、四国地域）記載内容の正誤					
		景気の状態判断 （誤）	景気の状態判断 （正）	業種・職種	判断の理由 （誤）	判断の理由 （正）	追加説明及び具体的状況の説明
1	30年2月調査		□	スーパー （企画担当）	来客数の動き	単価の動き	・数値的には売上高の前年比は上昇しているが、野菜の高騰など商品の単価の上昇によるところが大きい。来店客数自体は流れが変わっていない。
2	30年4月調査		□	スーパー （企画担当）	来客数の動き	単価の動き	・過去の競合の出店やドラッグストアでの食品の販売などで客数の状況はほぼ前年を割る状況で継続している。青果物の高騰や加工食品の値上げにより商品の単価が上がっているため売上自体は客数の状況を上回る状態が続いている。
3	30年5月調査		□	スーパー （企画担当）	来客数の動き	単価の動き	・来店客数の伸びよりも売上の伸びのほうが上がっているが単価の上昇によるところが大きい。価格上昇の影響が出ている。
4	30年5月調査 （コメント追加）		×	一般小売店 〔書籍〕 （営業担当）		販売量の動き	・外商売上、店頭売上ともに前年を割り込んでいる。外商売上は、大口の注文が減っている。
5	30年6月調査 （コメント追加）		□	繊維工業 （経営者）		受注量や販売量の動き	・全国的に小売店の店頭販売は余り芳しくないようである。ただし関東、関西の一部はインバウンドなどの影響もあり、好調で全体をならすと、前年並みになっている。
6	30年6月調査	□	▲	電気機械器具 製造業 （経営者）		受注量や販売量の動き	・鉄骨などの部材の値上がりが発電所建設費用を圧迫しているため、厳しい状況である。
7	30年7月調査 （コメント追加）		○	繊維工業 （経営者）		受注量や販売量の動き	・7月中旬からの熱波による異常気象で、高温が続いており、夏物商品の店頭販売が順調である。特に夏商品であるハンカチや手ぬぐいタオルの受注が旺盛になってきた。
8	30年10月調査		▲	コンビニ （総務）	それ以外	来客数の動き	・天候や気温に左右されるが、来店客数の前年割れが顕著に出てきた。